

信濃川水系犀川（上流）
国管理河川から氾濫を想定した水害リスクマップ
(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)
【中長期河道】



安曇野市

生坂村

1 説明文

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)を示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、中長期(令和3年3度)の犀川の河道、堤防の侵食・洗掘対策及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨に伴う洪水により犀川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(平成18年7月型)を用いています。河川整備計画の策定時は各種事業計画立案時に事業効果を説明するため用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

(4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年6月に指定・公表したものを地形条件等を考慮して表示しているため、河道条件が異なります。

2 基本事項等

(1) 公表年月日 令和5年3月30日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省北陸地方整備局

- ・千曲川河川事務所：信濃川水系犀川

(3) 實施区間 千曲川河川事務所

- ・犀川 長野県松本市安曇240番の4川端地先の新淵橋から長野県東筑摩郡生坂村北陸郷字沢口8443番の1地先の日野橋まで

(4) 算出の前提となる降雨

- ・年超過確率1/10(千曲川流域の2日間の総雨量131mm)
- ・年超過確率1/30(千曲川流域の2日間の総雨量157mm)
- ・年超過確率1/50(千曲川流域の2日間の総雨量170mm)
- ・年超過確率1/100(千曲川流域の2日間の総雨量186mm)

(5) 河道条件：中長期(令和3年3度)

(6) 関係市区町村 生坂村、安曇野市、松本市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

松本市

国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所

測量法に基づく国土地理院承認(使用) R 4JHs 543

凡例	
■	高頻度(1/10)
■	中高頻度(1/30)
■	中頻度(1/50)
■	中低頻度(1/100)
■	想定最大規模降雨
---	市町村界
---	河川等範囲
■	浸水想定区域の指定の 対象となる洪水予報河川